

令和7年度行政評価《事業評価調書》

事業名 除雪費				担当 建設部建設事業室維持課					
事業概要		歩道や車道の除排雪、凍結路面などの管理を一括して委託することにより、効率的かつ安全な交通の確保を行うもの。							
		事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)	
R6決算		1,965,039 千円		4.0 人		22,956 千円		1,987,995 千円	
R7予算		1,925,200 千円		4.0 人		22,956 千円		1,948,156 千円	
目標		冬期間において、安全に移動できる道路を確保する。							
実績・効果		除排雪等に対する「市民の声」件数は以下のとおり。 令和4年度：2,292件 令和5年度：2,625件 令和6年度：2,170件 除排雪等に対する「市民の声」の件数は、雪の降り方の影響もあり年度によって増減している状況ではあるが、平均値は目標値に対して、順調に推移していると考えられる。							
点検・評価	点検項目		評価			評価の理由等			
	必要性		☒ 高い ☐ どちらかという高い ☐ どちらかという低い ☐ 低い			冬期間の安全な交通を確保するため。			
	妥当性		☒ 高い ☐ どちらかという高い ☐ どちらかという低い ☐ 低い			地域毎に総合的な判断で効率的に地域総合除雪を実施。			
	有効性		☒ 高い ☐ どちらかという高い ☐ どちらかという低い ☐ 低い			目標値に対して順調に推移している。			
	効率性		☐ 高い ☒ どちらかという高い ☐ どちらかという低い ☐ 低い			雪寒路線について、社会資本整備総合交付金の利用が可能。			
評価の結果を踏まえた今後の方向性						継続			
【今後の方向性の説明】									
近年は、雪の降り方に偏りがあり、短期間に多量の降雪が発生する傾向が見られるが、引き続き効果的な除排雪体制の整備に努め、市民ニーズに応えられるよう取り組んでいく。									

事業名 建設機械整備費		担当 建設部建設事業室維持課	
事業概要	当市で所有する除雪機械は、耐用年数を超過している除雪機械が約 7 割を占めている。安定的な除雪体制を継続するため、計画的に老朽化している除雪機械の更新を行うもの。		
	事業費(A)	概算人工	人件費換算(B) トータルコスト(A)+(B)
R6決算	173,030 千円	0.1 人	574 千円 173,604 千円
R7予算	109,800 千円	0.1 人	574 千円 110,374 千円
目標	除雪機械更新計画に基づき、除雪機械の更新を行う。		
実績・効果	除雪機械の更新状況 令和4年度：ロータリ除雪車 6台 令和5年度：ロータリ除雪車 2台、砂散布車 1台 令和6年度：ロータリ除雪車3台、砂散布車 1台 安定的な除排雪体制の継続に寄与した。		
点検・評価	点検項目	評価	評価の理由等
	必要性	☒ 高い ☐ どちらかという高い ☐ どちらかという低い ☐ 低い	老朽化の影響により除雪車が故障した場合、除排雪作業に多大な影響が発生するため。
	妥当性	☐ 高い ☒ どちらかという高い ☐ どちらかという低い ☐ 低い	除雪機械更新計画に基づき、計画的に除雪機械の更新を行う。
	有効性	☐ 高い ☒ どちらかという高い ☐ どちらかという低い ☐ 低い	計画的に更新することで、安定的な除雪体制を維持できる。
	効率性	☐ 高い ☒ どちらかという高い ☐ どちらかという低い ☐ 低い	雪寒機械の場合、社会資本整備総合交付金が利用可能。 それ以外の機械についても過疎債が利用可能。
評価の結果を踏まえた今後の方向性			継続
【今後の方向性の説明】 安定的な除排雪作業を維持するため、除雪機械更新計画に基づき、除雪機械の更新を進める。			

令和7年度行政評価《事業評価調書》

事業名	ロードヒーティング更新事業		担当	建設部建設事業室建設課					
事業概要	「小樽市ロードヒーティング長寿命化計画」に基づき、健全度の低い設備から更新することを基本とし、バス路線の有無や勾配などの路線の重要性、更新が必要な設備の規模を考慮した上で、計画的かつ継続的に設備の更新を実施する。								
	事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)		
R6決算	50,424	千円	1.0	人	5,739	千円	56,163	千円	
R7予算	159,838	千円	3.0	人	17,217	千円	177,055	千円	
目標	ロードヒーティング設備の老朽化や劣化に伴う故障の発生を未然に防止する。								
実績・効果	計画的かつ継続的に設備の更新を実施することで、冬期間における急勾配の道路の安全かつ円滑な交通の確保される。								
点検・評価	点検項目	評価		評価の理由等					
	必要性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い		冬期間の安全な交通を確保するため。					
	妥当性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い		定期点検、保守点検を実施し、総合的な判断で効率的に事業を実施。					
	有効性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い		計画的に更新することで、維持管理費を縮小できる。					
	効率性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い		社会資本整備総合交付金の活用が可能だが充当が低く、緊急自然災害防止対策事業債の活用も検討していく。					
評価の結果を踏まえた今後の方向性				継続					
【今後の方向性の説明】 今後も施設整備の緊急度、路線の重要度、整備効果及び困難度を勘案し、施設整備に努め、市民ニーズに応えられるよう取り組んでいく。									

事業名			担当						
事業概要									
	事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)		
R6決算		千円		人	0	千円	0	千円	
R7予算		千円		人	0	千円	0	千円	
目標									
実績・効果									
点検・評価	点検項目	評価		評価の理由等					
	必要性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い							
	妥当性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い							
	有効性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い							
	効率性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い							
評価の結果を踏まえた今後の方向性									
【今後の方向性の説明】									